

いのちを想う宗教者の行進

本願寺派総合研究所「行進」を行った。は宗教宗派を超えて自 京都府が自死・自殺死・自殺防止に取り組 対策として2016年む活動として3月1日に3月1日を「京都の日、第7回「LIFEのちの日」と定めたことを受け、毎年行っている。



雨の中、法衣姿の僧侶11人が「あなたのお話をお聴きします。他人には些細なことも、あなたにとっては重大な問題ですから」などのメッセージを掲げながら、京都市東山区の大谷本廟から本山本願寺までの約3・5キロを歩き、道行く人々にアピールした(写真)。

苦悩を抱える人に小冊子を無料配布

本願寺派総合研究所はこのほど、苦悩を抱える人に向けたメッセージを掲載する小冊子「宗教者からのメッセージ」を制作し、いのちのちの平安を願う「7」をト実行委員会(霍野 廣田実行委員長・福岡 泉上毛町・覚圓寺衆徒)は、オンラインによるトークセッションを3回実施。宗派が支

援するNPO法人京都自死・自殺相談センターSottoの竹本了悟代表ら、生きづらさ・悩みを抱える人に寄り添う活動を行う僧侶たちが、活動現場での体験などを語った。

1) 9244。